



日本から訪れた村越祐民外務大臣政務官(当時)に説明するウガンダ教育スポーツ省幹部とNVTIの指導員



NVTIを視察に訪れたアルボ教育大臣と田中明彦JICA理事長

川島専門家たちが主に取り組んだのは、近隣国の職業訓練校の手本にもなるようなカリキュラム開発と指導員マニユアルの作成。省庁や大学などから多く

川島専門家たちが主に取り組んだのは、近隣国の職業訓練校の手本にもなるようなカリキュラム開発と指導員マニユアルの作成。省庁や大学などから多く

の関係者が集まり、参考になる資料や教材などを持ち寄った。「みんな何事にも前向きで、ワークシヨップを何回も開催して議論を重ねました。より良い職業訓練を提供しよう」と真剣で、日本もアフリカの職業訓練関係者も、真面目さや熱意は変わらないと感じました」と話す。現在NVTIは、地元企業の従業員の職業訓練も請け負うように。3月からは日本の協力も新たな段階に入り、トヨタ自動車株式会社の現地法人、トヨタウガンダとの連携も始まる予定だ。

NVTIの入口から事務棟に続く一本道には、ヤシの並木道がある。そのうちの数本は、90年代に派遣された日本人専門家によって植えられたもの。その立派な木々には、ここにしっかりと根を張って学んでほしいの思いが感じられる。それを受け取ったかのように、今日もまた、訓練生たちは汗水たらしながら懸命に学んでいる。



校内にはあちこちに日本の協力の軌跡が見られる

た。しかしいくら豊富に資源があっても、技術・技能を身に付けた人がいなければ産業は育たない。現地の中小企業の技術・技能者育成のため、NVTIを創設することになった。

そこで白羽の矢が立ったのが、驚異のスピードで戦後復興を遂げた日本だった。日本の経験に学び、一つの国としてさらなる成長を目指したい。その思いに込められるべく、現地に派遣されたのが、横瀬多喜さんを始めとする4人の日本人専門家。当時、機械科の指導員に採用されたワングロベ・ファビアンさんは、「日本人の皆さんは手取り足取り、とても丁寧に教えてくださいました。はるか遠いところ

から救世主のように現れ、何か新しいことが動くという実感がありません」と振り返る。

しかしディア・アミン大統領の独裁政権が始まり、ウガンダはほどなくして混乱の時代に突入してしまう。日本の協力は74年をもって終了し、NVTIは創設わずか3年で、現地の人たちが自身の手で運営せざるを得なくなった。

日本と再始動、新たな指導者の育成へ

日本とウガンダが、再びつながったのは90年代。情勢が安定し、また新たにパートナーシップを組むチャンスが到来した。志半ばでNVTIから撤退せざるを得な

った日本にとっても、またとない話だった。

長年の空白を経て、現地に降り立った日本人専門家たちは驚いた。20年以上前に供与した日本製の機械が、まだ大切に使われているのだ。「自分たちでこの職業訓練校を守る」と、日本人の技術者魂を受け継いだ人々が維持管理し続けたという。

それ以降、日本がNVTIと共に主に力を入れてきたのが、指導員の育成だ。2011年から2年間、NVTIに派遣された厚生労働省の川島孝徳さんは、この分野では日本屈指の専門家。東南アジアの職業訓練校の能力強化にも取り組んできたが、アフリカはウガンダが初めての仕事だった。「以前は同じアジアということもあってすぐに溶け込むことができました。でもアフリカは、見た目や文化の違いが際立って浮いてしまい、最初は戸惑いもありましたね。」



車両整備士はウガンダでもニーズの高い職業の一つ

東アフリカ ナンバーワンを目指す

パチ、パチ、パチッ。まばゆい閃光が飛び散る中、大きな鉄の板が弧を描いて削られていく。手元が1ミリずれただけでもダメ。その空間には、何ともいえない緊張感が漂っている。

ふとそばを見ると、なじみのある文字が目に入った。「HITACHI SEIKI」。その機械に刻まれている名は、かつて千葉県にあった工作機械メーカー、日立精機株式会社のことだ。よく見るとその他の機械にも、KIWA、AOYAMA、KITAMURAなど、日本の社名が入ったものがある

ちこちにある。

「ずいぶん昔に、日本の協力によって導入された機械なんですよ」。そう案内された。

ここは、ウガンダの首都カンパラにあるナカワ職業訓練校(NVTI)。東アフリカ最大級ともいわれ、約1000人の若者たちが、自動車、電気、電子、機械など7つのコースに分かれて学んでいる。機械の油などで手を真っ黒にしながらも、男性も女性も、生き生きとした表情で学んでいる。

その設立は1971年、今から40年以上も前にさかのぼる。ウガンダが独立したのは62年。新たなスタートを切った政府が目指したのが、鉱工業化の推進だっ

最近では、社会進出を目指した女性の訓練生も増えてきた



若者が職で輝ける力を

働くために必要な技術・技能を身に付ける職業訓練校。さらなる成長を目指すアフリカでは、人づくりの重要性に注目が集まっている。そして今、東アフリカの職業訓練をリードするのが、ウガンダのナカワ職業訓練校だ。

from ウガンダ

Uganda

